
Dearest My family

離宮 愛琉

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

D e a r e s t M y f a m i l y

【Nコード】

N 9 1 6 5 C

【作者名】

離宮 愛琉

【あらすじ】

何を隠そう私たちはd e a r e s t!!!10人は永遠の家族。

何でいつもこうなってしまうんだろう

本当に一番大切なもの

自分から手放してしまうんだ

一番失いたくないもののなに

失うより手放す方が楽だろうと…

何で貴方は私の大切なものを傷つけるの??

初めてだったんだ

こんなに人を愛しいと思ったの

私にとっての「人」って

ただのトラウマでしかなくて

いつしか関わる事にさえ臆病になってた

皆に会うまではね

暗闇の中で愛想笑いを浮かべてた私は

皆の中にいるだけで

光を見出す事ができた

そして

用意した愛想笑いも
不必要なものになったんだ

それだけじゃない

悲しみに挫折した時
そっと背中を押してくれた
励ましてくれた

だから私はまだ頑張る事ができてる

大切なものを失いかけた時
現実を突き付けられて泣いた私に
何も聞かないで

ただ傍にいてくれたよね
その優しさは、ただ「頑張れ」って言われるよりも
ずっと温かった

何もできずに途方に暮れた時
「そんな事ない」「大丈夫だ」って
ずっと肩を貸してくれた
また、立ち上がる勇気をくれた

泣きたいほどに
皆は優しくして温かくて

でも、やっぱり一緒にいてもいいのかって
そう思った。

私は皆と一緒にいれて幸せだけど
皆は私のせいで
辛い想いをたくさんしてる

だから

私は私が嫌いになった

そんな私を「ばか」って叱ってくれて
私が自分を嫌いになった理由から
私を守ってくれた

言葉なんかじゃ言い尽くせないほど
感謝してる

私が私でいられるのは
皆がいてくれたから

友達と言う関係さえも超えた
d e a r e s t .

皆だったから

私は今もこうして笑っていられるんだね

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9165c/>

Dearest My family

2010年10月21日22時05分発行